

アウトプット活動にも 使えるウェブサイトを 積極的に利用しよう

近年、英語教育において Information and Communication Technology (ICT) の活用が盛んに行われている。特に小学校英語活動においては、平成 21 年 4 月に文部科学省から全国の小学校に『英語ノート』デジタル版が配布され、各地でこの教材を利用した効果的な指導に関する研究や ICT を利用した補助教材の開発が進められている（例：和歌山県教育センター学びの丘平成 20・21 年度指定研究、http://www.wakayama-edc.big-u.jp/kenkyukiyo20/kenkyukiyo_top.htm（平成 20 年度報告のみ参照可））。

そこで本稿では、ICT を利用した小学校英語活動を体験した児童が中学校に入学することを踏まえ、中学校英語授業における ICT 利用促進に有効なウェブサイトを紹介する。ウェブサイトの利用と言えば、インプット活動を想定する場合が多いと想像されるが、今回はアウトプット活動にも活用できるウェブサイトを 3 つ取り上げる。なお、ウェブサイトを紹介するにあたり、授業は PC (CALL) 教室で実施、活動形態はグループ、生徒に与えるタスクは「クラス内発表として、レッスンに出てきたシドニー、ハーバーブリッジの実況中継を行う」と仮定する。

1. EarthCam (<http://www.earthcam.com/>)

[特徴] 世界主要都市の映像をリアルタイムで閲覧することができる。ただ、時差の関係から、アジアやオセアニアといった比較的時差の小さい地域に限定されるという欠点がある。

[授業での使用例] ハーバーブリッジの映像を実況中継させる。実況中継の前に、どのように実況中継するのか、そのポイントを日本語で討論させる。

— こうすればあなたの授業は もっと生徒を魅きつける —

石川保茂 Ishikawa Yasushige
(京都外国語大学・同短期大学)

2. BYU-BNC (<http://corpus.byu.edu/bnc/>)

[特徴] British National Corpus (BNC) を無料で使用することができる。

[使用手順] 登録後、画面左側の DISPLAY で KWIC を選択し、ボックスに検索したい語(句)等を入力し検索させると、コロケーションを調査することができる(調査方法は INTRODUCTION にある search for surrounding words をクリックすれば参照可)。

[授業での使用例] 教師が、実況中継に有効なコロケーションを意識した語彙リストを作成する際に利用する。また、生徒にコロケーション(1つの単語が他のどういう単語とつながるか)調査を体験させることにより、コロケーションを実感させる。

3. Acapela Text to Speech Demo

(<http://www.acapela-group.com/text-to-speech-interactive-demo.html>)

[特徴] 入力したテキストが合成音声に生成される。音声はイギリス英語・アメリカ英語の2種類が用意されている。なお、音声ファイルを自動的に生成するウェブサイトもある(Loquendo Interactive TTS Demo, <http://tts.loquendo.com/ttsdemo/default.asp?page=id&language=en>)。

[授業での使用例] 発音やプロソディーを確認させながら音読練習をさせ、クラス内発表に備える。

以上、インプット活動だけではなく、アウトプット活動にも利用可能なウェブサイトを紹介した。今後、中学校英語教育において、ICT 活用による授業実践がますます行われることを期待して止まない。

注：URL 参照日はいずれも 2010 年 3 月 8 日である。